

\*\*\*\*尚、通年下記行事を実施しております。是非御参加下さい。\*\*\*\*

## ◇定例法話◇



毎月一度お寺に集まり、聞法を深めるとともに、お仲間と命の尊さを確認し、語り合えるご縁をいただきましょう。

どなたでも自由参加ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。

○日時 毎月25日 午前10時半より 午後1時半より

## ◇婦人同朋会◇



正信偈を中心としたお勤めからはじまる聞法会です。勤行稽古、報恩講への参加を御縁とした交流の場でもあります。

尚、正信偈の意識を通して宗祖親鸞聖人の教えを深めていきます。まだ始まったばかりですので、皆様の御参加を願っております。

○日時 午後1時半より 10月22日（午前10時よりおみがき）

1月21日（互礼会） 3月25日

## ◇俳句会◇ 毎月 第1日曜日及び7日



### 《一口法話》



時の流れとは皮肉なものであり、不可思議でもあります。私達は時を止めることも出来ず、時間を早回しすることも出来ません。常に一定のリズムで時は刻まれて行くのです。しかし何故でしょう？ 私達の間では一定と言えないようです。

先日、時間にあせりながら車を運転中、信号に引っ掛かる度に思いました。全く変わらない信号の赤。大変長く感じます。そのくせ時間だけはあっという間に過ぎて行きます。待つ時間は長く、時間をもっとほしい時は速い。皮肉なものです。これだけしかないと思えば一瞬にして、まだこんなにもあると嘆くとなかなか進まない、それが私達の間では時間の錯覚です。私の都合通りに時は進んでくれません。

自分の都合で時を計り、都合よく進めようとしていませんか？ あせっては進むべき道を見失います。だから人は迷い嘆き、苦しむのです。古い歌の歌詞にあります。心穏やかに『時の過ぎ行くままに この身をまかせ』深呼吸すれば、今出来る事、すべきことが見えてくるのでは。与えられた時間を有効に生かしたいものです。

### 《後記》



片谷 陽子（大應寺同朋婦人会 会長）



お寺での定例法話で奉仕することの意義をご教示いただき、「生きがいとしてこれから私の出来ることは何だろう」と思うようになりました。お仲間とお話しするなかで、介護ケア施設での高齢者との話し相手や介護職員のお手伝いなど、ボランティアに気持がはまりました。幸いにも数年前から週二日ほど出掛ける機会を得ています。つらくても心満たされる時間、加えて私のささやかな趣味である水墨画を、サービス御利用の方達と共に楽しんでいます。

